

News Release

2021年3月19日

BASF、JA 全農との協業により AI ベースの栽培管理最適化デジタルプラットフォーム「xarvio® FIELD MANAGER」を日本で上市

- 適切な意思決定を支援、農業生産性を向上し、持続可能な農場運営を実現
- 連携により JA 全農の営農管理システム「Z-GIS®」で両システムの圃場管理に関するデータの同期、管理が可能
- 日本の水稲と大豆の生産者向けにサービスを開始し、将来的に対象作物を拡大予定

ドイツの総合化学メーカーBASFの子会社である BASF デジタルファーマーミング社(本社:ドイツ)は、AI ベースの栽培管理最適化デジタルプラットフォーム、xarvio® FIELD MANAGER(ザルビオ フィールドマネージャー)を、4月1日より水稲と大豆を対象に、日本でサービスを開始します。既に16か国で利用されている xarvio® FIELD MANAGER の日本における上市は、デジタル技術を活用し生産者の生産性向上を図ることを目指して、JA 全農との協業により実現しました。日本はアジア太平洋地域において上市を行う最初の国になります。

xarvio® FIELD MANAGER は播種から収穫まで、各圃場・各ゾーンに合わせて、作物ごとに管理を包括的に行うデジタル・ソリューションです。過去の栽培データ、作物の種類、生育モデル、気象データ、緩衝地帯と環境負荷、農薬登録情報、病害リスクや衛星データなど、多様なデータを高度な AI が分析し、圃場毎のリアルタイム情報とリコメンデーション(推奨作業)を提供します。これにより栽培管理の計画が立てやすくなり、作業を最適化することができます。xarvio® FIELD MANAGER が推奨する製品は BASF の製品に限定されません。

日本の xarvio® FIELD MANAGER には、水管理、種子処理と育苗箱処理、水稲に特化したバイオマスマップ、0.5ha 未満の農地でも利用可能な NDVI マップ、雑草防除支援機能など、国内の生産者のニーズに合わせた固有の機能が含まれます。BASF は昨年、JA 全農と協力し、国内で水稲と大豆の圃場における実証実験を通じて生育ステージ予測と病害発生予測の精度を検証し、水稲育苗など日本独自の農業を行う圃場でも高い的中率を示すデータを得ました。

既に一般公開している病害・雑草の画像診断システム xarvio® SCOUTING (ザルビオスカウティング) との連携により、xarvio® FIELD MANAGER を使用する生産者は、病害と雑草を撮影しアップロードすることで、圃場で発生している病害・雑草をより正確に特定し、適切な対策をとることが可能になります。対象を的確に捉えたタイムリーな農薬散布でコストを削減し、環境への影響を低減します。また、スマート農業の技術を備えた散布ドローン、GPS ナビゲーション付きのトラクターや圃場センサーなどとも連携を拡大していく予定であり、精密、効率的、かつ、持続可能な作物栽培を実現します。

JA 全農が開発・運用している営農管理システムの Z-GIS® との連携により、xarvio® FIELD MANAGER を使用する生産者は Z-GIS® と圃場管理のデータを同期し管理することができます。BASF と JA 全農は今後も xarvio® FIELD MANAGER と Z-GIS® の連携における協業を継続するとともに、圃場の規模に関わらず、分散した圃場の管理においても、幅広い生産者に活用していただけるよう協力して普及活動を行います。また、対象作物の拡大も予定しています。

「xarvio® FIELD MANAGER は現在 500 万 ha 以上の農地において利用されており、様々な地理的環境で生産者の意思決定を支援しています。病害や天気などのリスクから作物を保護し、効率的に栽培管理を行い、持続可能性と生物多様性を促進するこのデジタル・ソリューションを、JA 全農との協業により日本の生産者に提供できることを大変うれしく思います」と BASF デジタルファーミング社のマネージングディレクター兼グローバル コマーシャリゼーション バイスプレジデントのアンドレ-ジョージ-ギルグは述べています。

xarvio® FIELD MANAGER は無料プランと、より高度な機能を提供する有料プランがあります。より多くの方に xarvio® FIELD MANAGER を体験していただくため、2021 年 7 月末まではサービスをすべて無料で提供します。xarvio® FIELD MANAGER のホー

ムページでユーザーアカウントを開設することができ、開設後すぐにお手持ちの PC、タブレット、スマートフォンで利用可能になります。

BASF と JA 全農は 4 月 1 日(木)13:00 より、生産者向けに xarvio® FIELD MANAGER の機能やサービス内容、ユーザーボイスをお伝えするオンラインイベントを開催します。視聴をご希望の方は、別添に記載の QR コードから参加登録してください。

xarvio® FIELD MANAGER についての詳細はこちらをご覧ください。<https://crop-protection.basf.co.jp/xarvio-Digital-Farming-Solutions>

■xarvio®デジタル農業について(BASF デジタルファーミング社のブランド)

xarvio®(ザルビオ)は生産者が最も効率的かつ持続可能な方法で作物を生産できるように、各圃場の状況に応じたリコメンデーションを提供する作物モデルプラットフォームに基づいたデジタル・ソリューションです。xarvio®は、圃場を管理する「FIELD MANAGER」、病虫害雑草を画像診断する「SCOUNTING」、 「HEALTHY FIELDS」から成り、100 カ国以上の生産者に使用されています。「FIELD MANAGER」は世界 16 カ国で 48,000 人の生産者(総面積 5 百万 ha 以上)が、「SCOUNTING」は世界で 380 万人以上の生産者が使用しています。

■BASF の アグロソリューション事業本部について

世界の人口が急速に増加するなか、持続可能な農業と健康的な環境を作り出して維持する BASF の役割はますます大きくなっています。BASF のアグロソリューション事業本部は、生産者や農業従事者、害虫駆除業者などの皆様と共にこの状況に対応しています。そのため、BASF は強力な研究開発パイプラインや、種子、形質、化学・生物農薬、土壌管理、プラントヘルス、害虫防除、デジタル農業などを含む、幅広いポートフォリオに投資を行っています。研究室や現場、事務所、生産施設に専門家チームを配し、生産者や社会、そして地球のために、革新的な考え方と堅実な行動を組み合わせ、実際に役立つ現実的なアイデアを生み出しています。2020 年、BASF のアグロソリューション事業本部の売上高は 77 億ユーロでした。アグロソリューション事業本部についての詳細は www.agriculture.basf.com/jp または各種ソーシャルメディアをご参照ください。

別添:

■xarvio® FIELD MANAGER オンラインイベントについて

タイトル: AI が圃場の将来を予測
スマート農業を実現する栽培管理支援システム
「xarvio® FIELD MANAGER (ザルビオ フィールドマネージャー)」とは？

日時: 4月1日(木)13:00~15:00

内容:

1. BASF のデジタル農業の取り組みと「xarvio® FIELD MANAGER」の紹介
2. スマート農業を実現する全農の提案
3. 生産者インタビューとパネルディスカッション
4. 「xarvio® FIELD MANAGER」と「Z-GIS®」の利用方法・申込方法

参加費: 無料

参加方法: 下の QR コードよりお申し込みください。

<https://event.on24.com/wcc/r/3065416/401190478923D9970368DBCC4FD11771>

